



2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

2019年2月14日

証券コード：4022

目 次

1. 事業概要

2. 2019年3月期 第3四半期実績

1. 事業概要

事業概要

会社概要

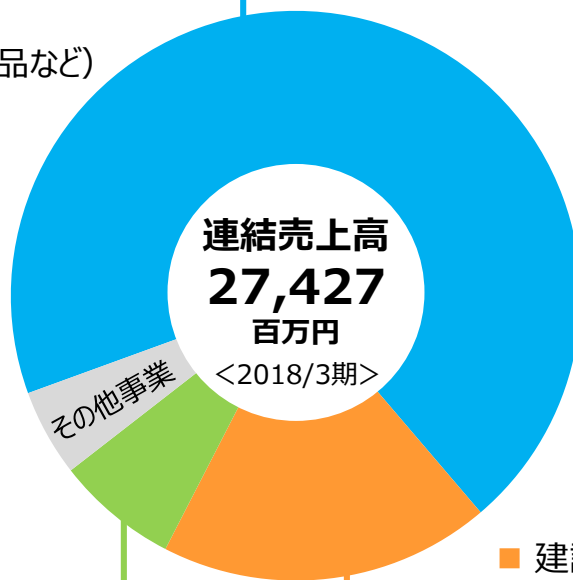
商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都中央区京橋一丁目1番1号
創業	1913（大正2）年5月1日
設立	1918（大正7）年6月26日
従業員数	557名（連結） <2018年3月31日現在>

化成品事業 19,459百万円／71.0%

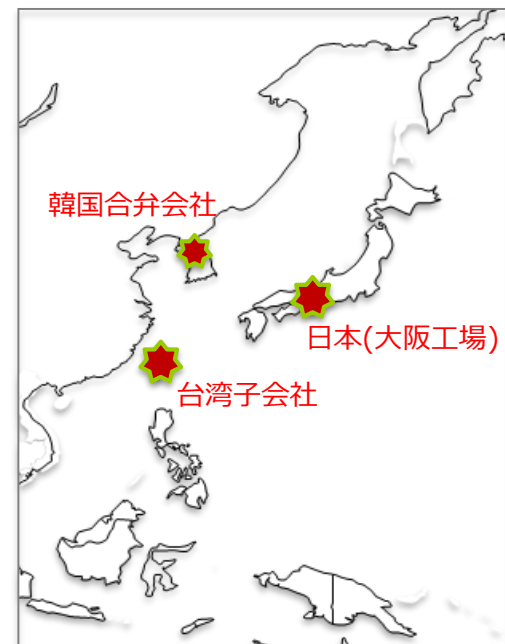
- リン系製品
リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、消臭剤など）

- 化合物半導体向け高純度無機素材（ガリウム、インジウム、高純度赤リン、高純度酸化ホウ素）
- 放射性ヨウ素吸着剤

電子材料事業 1,641百万円／6.0%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
 - 土木機械（掘進機（上下水道向け））
- ## 機械事業 5,104百万円／18.6%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

2. 2019年3月期 第3四半期実績

2019年3月期 第3四半期 決算概要

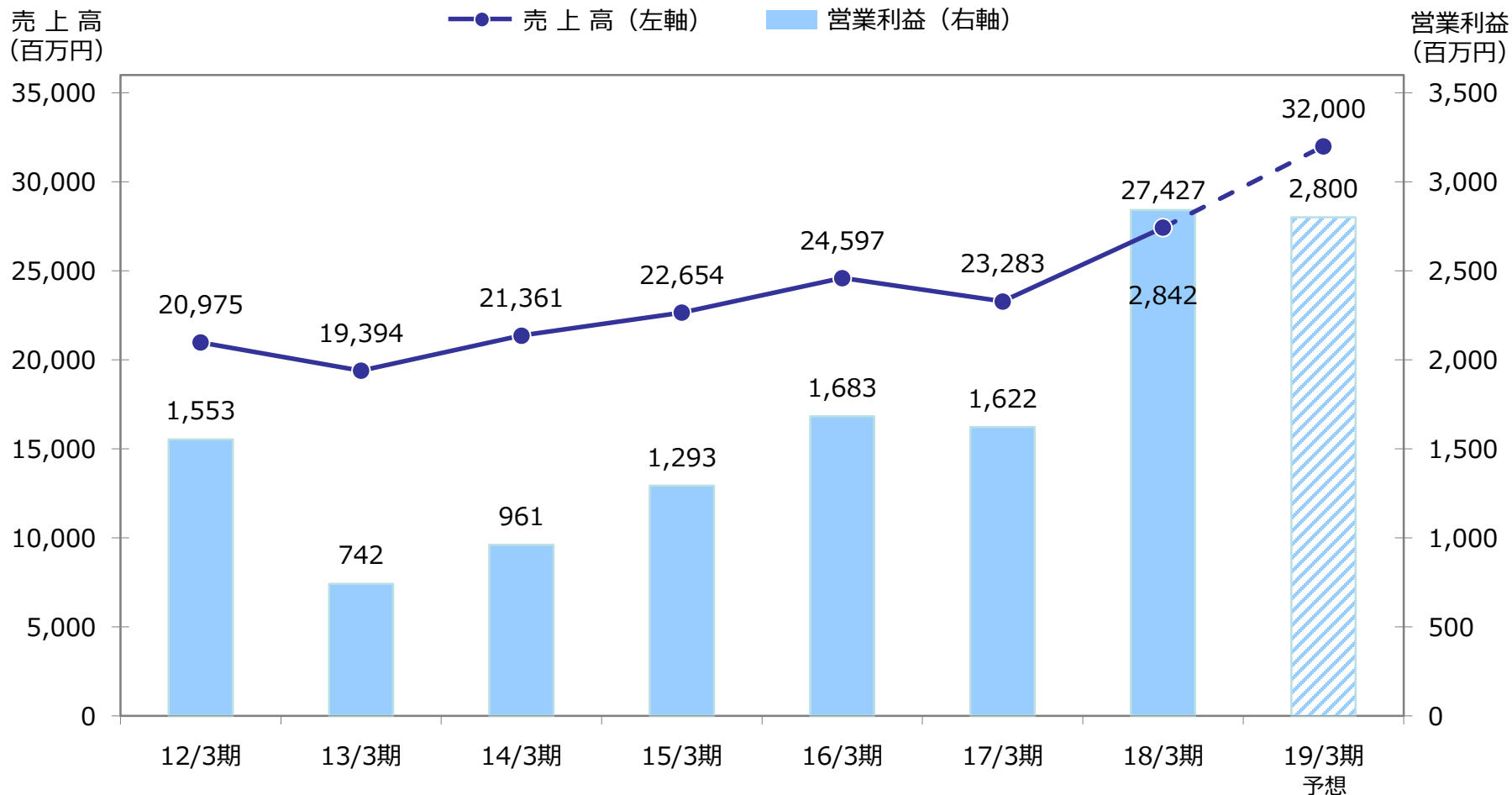
- 売上高は、化成品事業で半導体向け販売拡大、増産効果の寄与もあり増収。
- 営業利益は、機械事業でプラント販売の採算悪く、減益（機械事業のセグメント利益は前年同期比 △235百万円）。また、償却費等コスト増もあり。

(単位：百万円)

	2018/3期 第3四半期	2019/3期 第3四半期	増減	前年同期比	第2四半期 実績	通期予想
売上高	20,012	23,042	3,030	15.1%	15,584	32,000
営業利益	1,962	1,668	△ 294	△ 15.0%	1,197	2,800
経常利益	1,835	1,758	△ 77	△ 4.2%	1,246	2,800
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,501	1,548	47	3.1%	1,100	2,300
(減価償却費)	746	968	222	29.8%		

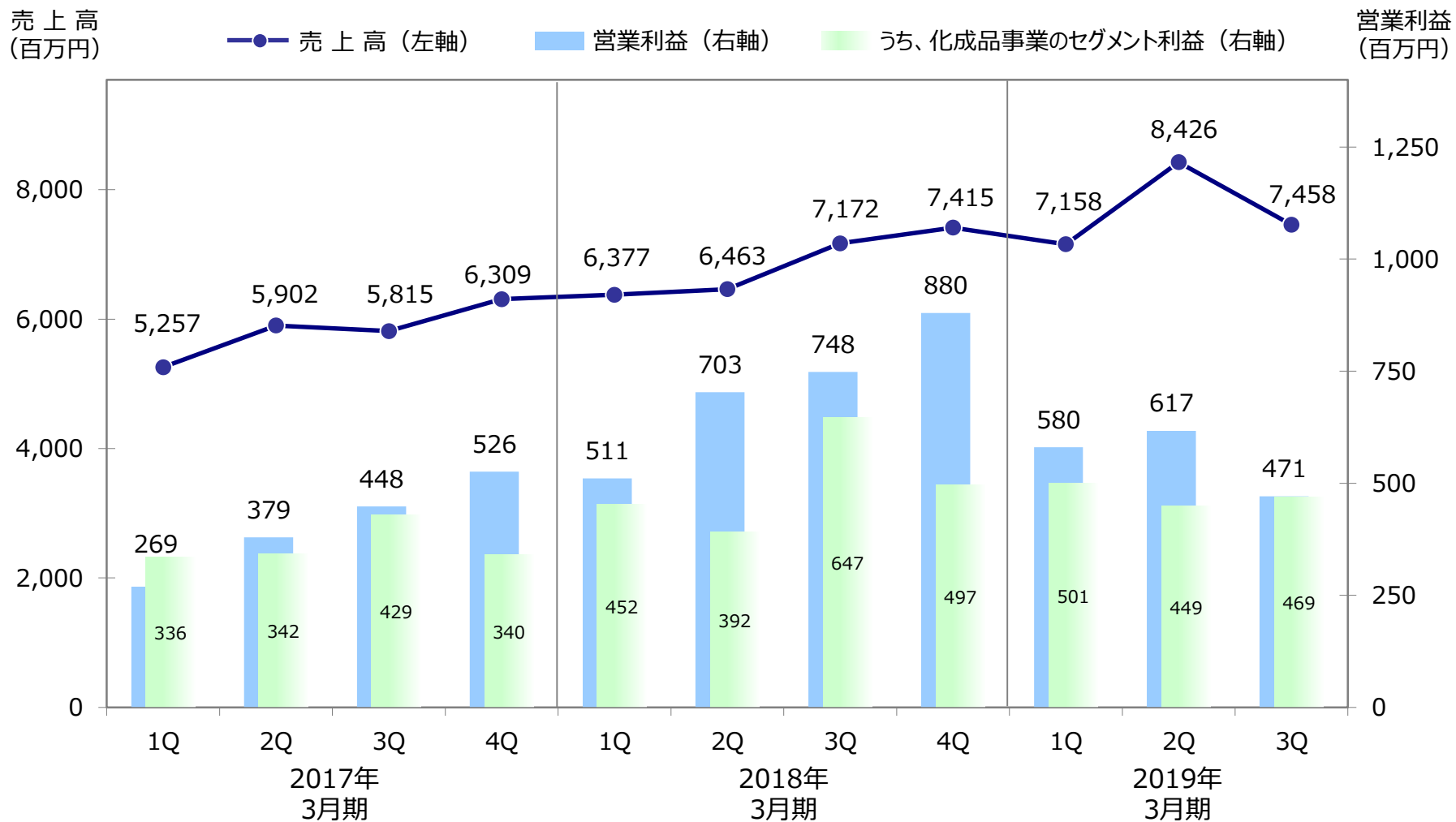
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移



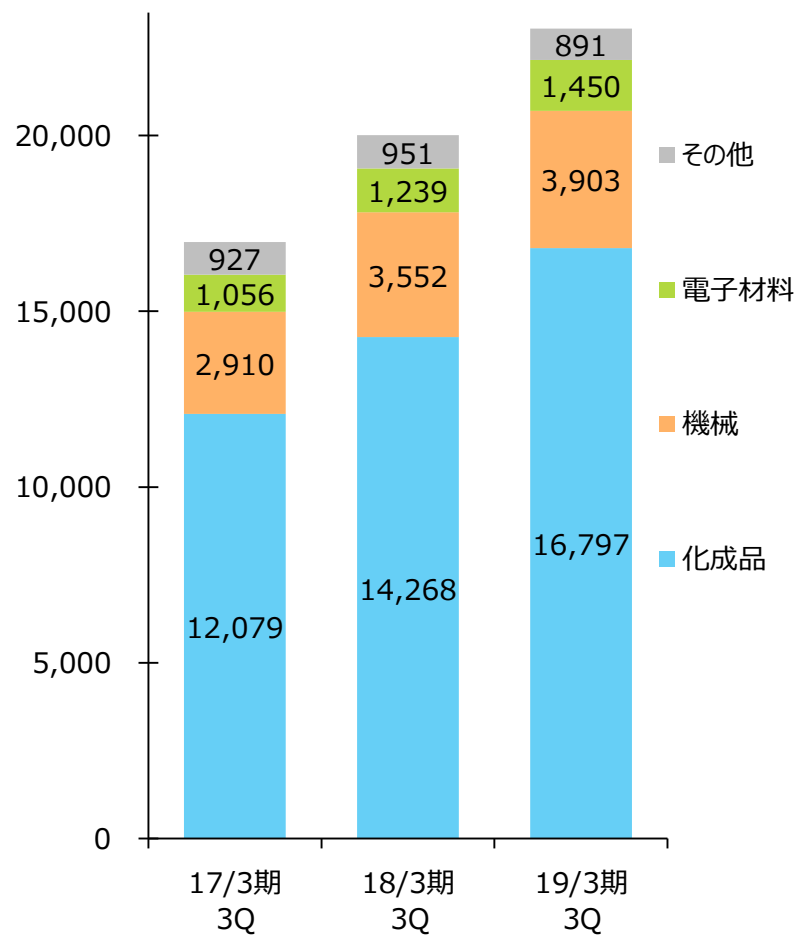
2019年3月期 第3四半期 セグメント別概要（売上高）

売上高の推移

（単位：百万円）

	2018/3期 第3四半期	2019/3期 第3四半期	増減	前年 同期比
化成品	14,268	16,797	2,529	17.7%
機械	3,552	3,903	351	9.9%
電子材料	1,239	1,450	211	17.0%
その他	951	891	△ 60	△ 6.3%
合計	20,012	23,042	3,030	15.1%

（百万円）



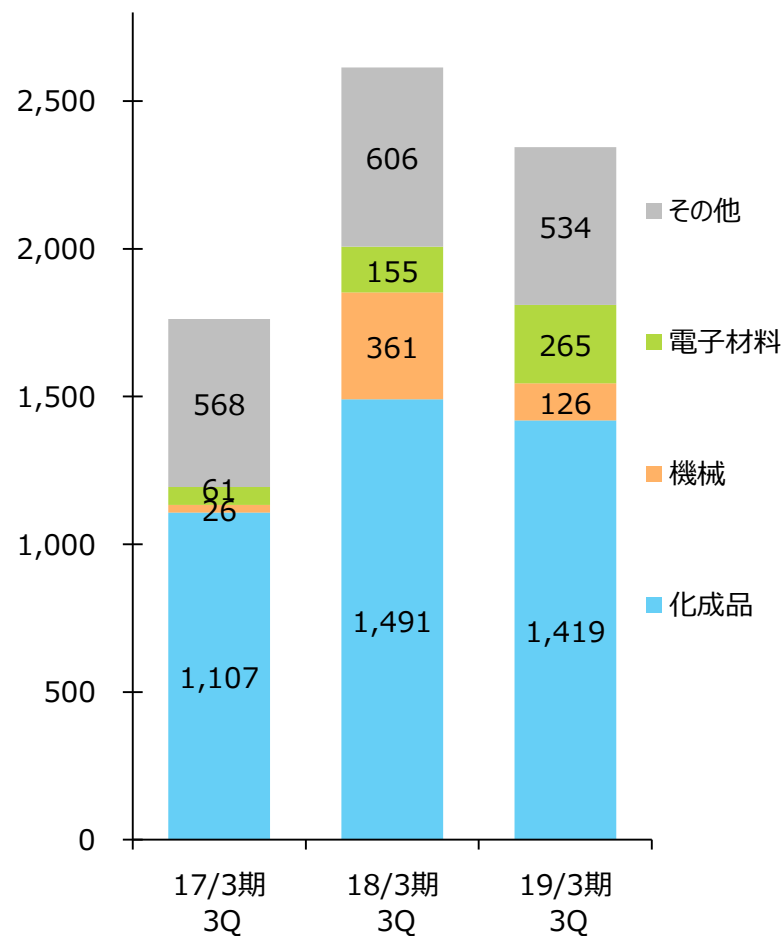
2019年3月期 第3四半期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

（単位：百万円）

	2018/3期 第3四半期	2019/3期 第3四半期	増減	前年 同期比
化成品	1,491	1,419	△ 72	△ 4.8%
機械	361	126	△ 235	△ 65.1%
電子材料	155	265	110	71.0%
その他	606	534	△ 72	△ 11.8%
（調整額）	△ 651	△ 678	△ 27	-
合計	1,962	1,668	△ 294	△ 15.0%

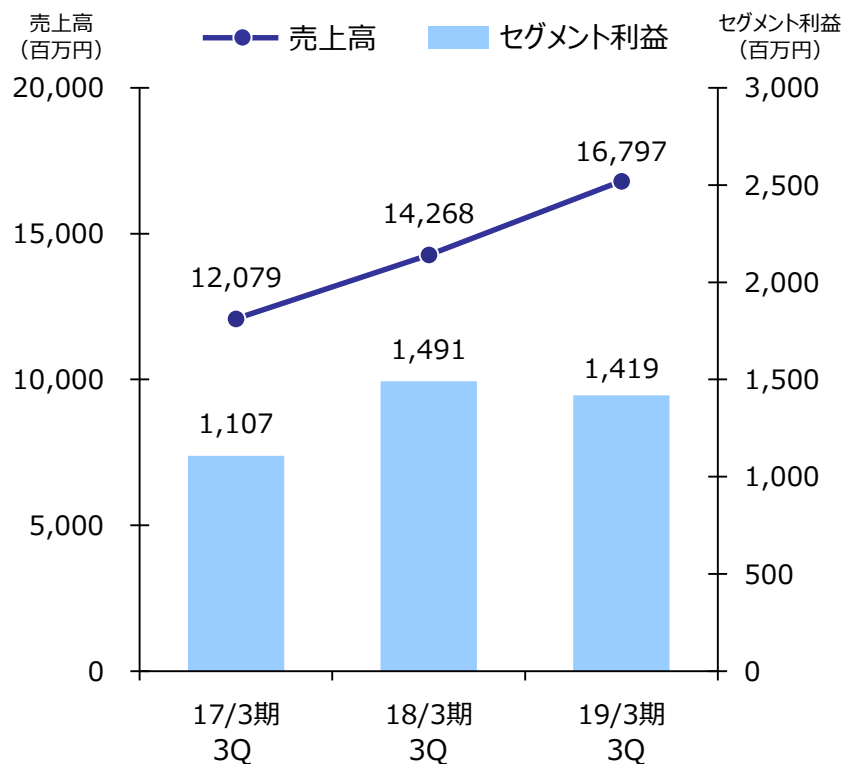
（百万円）



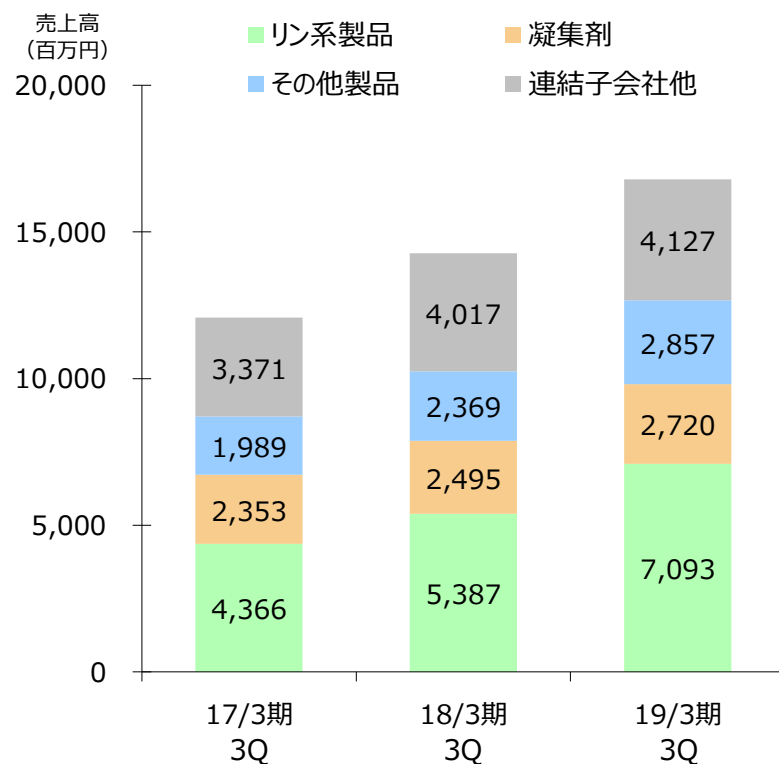
化成品事業

- リン系製品は、電子工業向け高純度品が拡大、増産効果も寄与。償却費等のコスト増。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、客先需要の拡大で大幅な増収。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

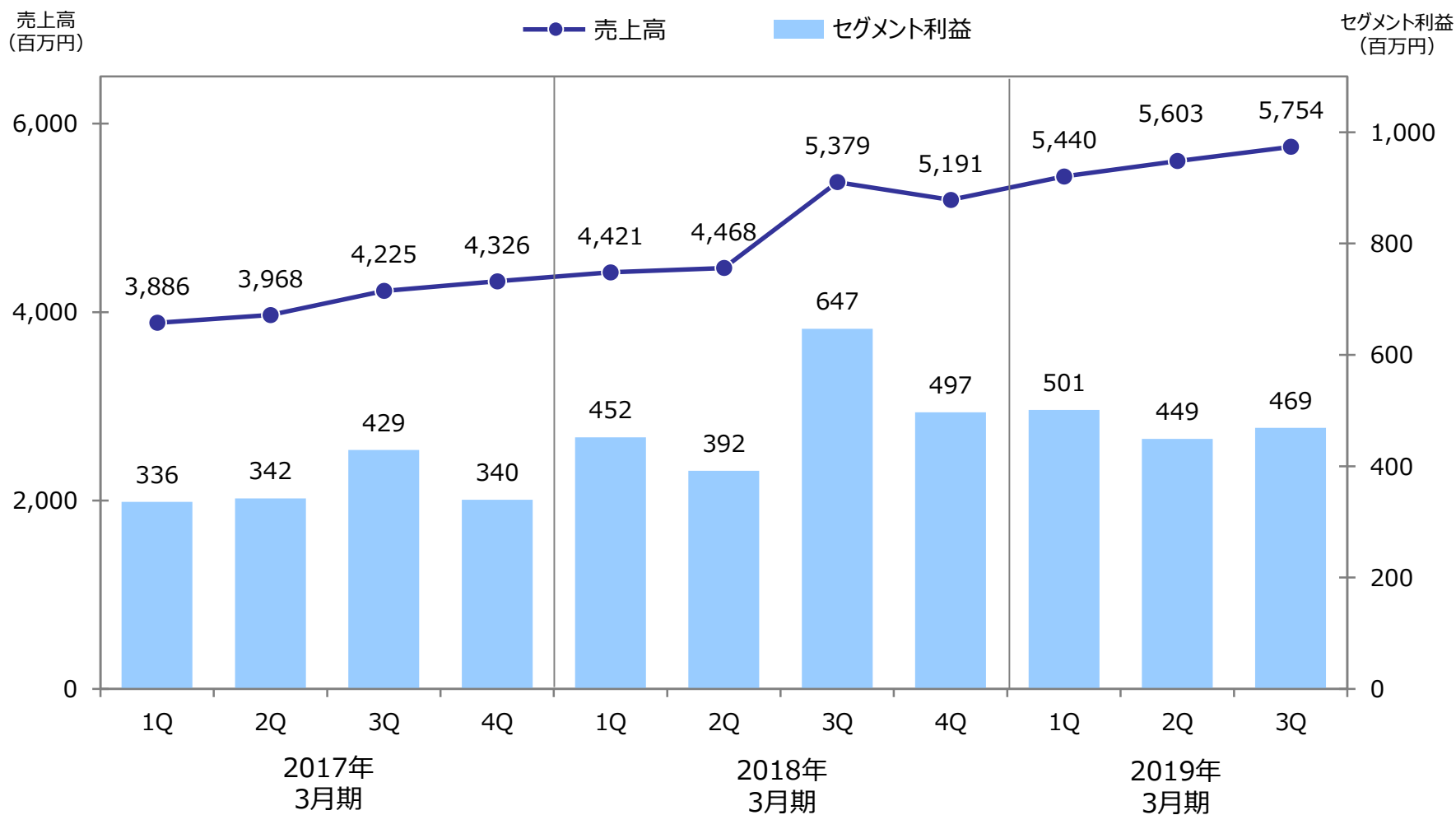


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

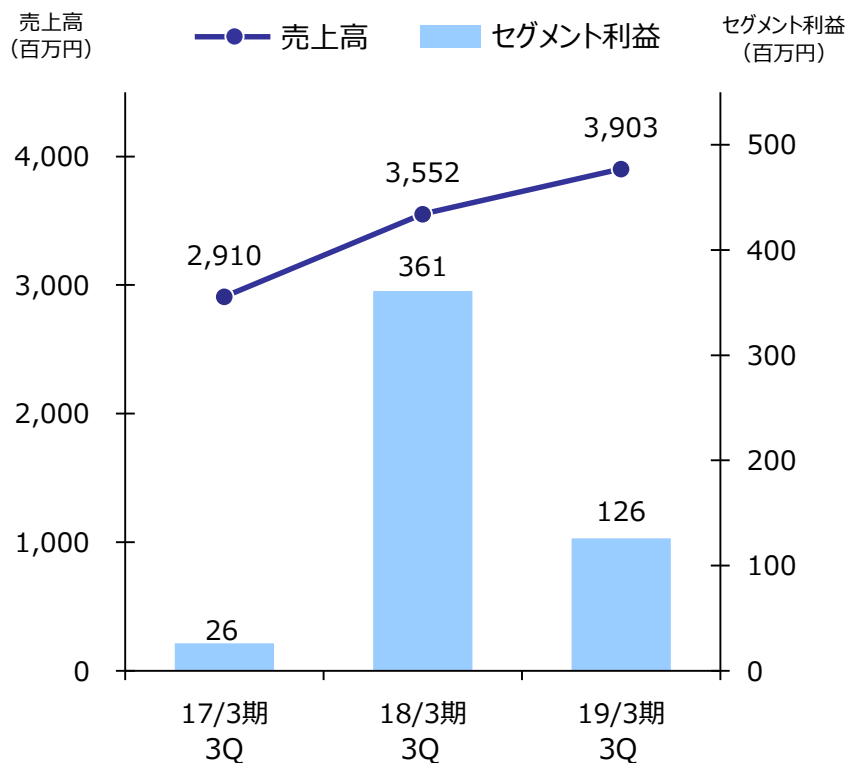
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



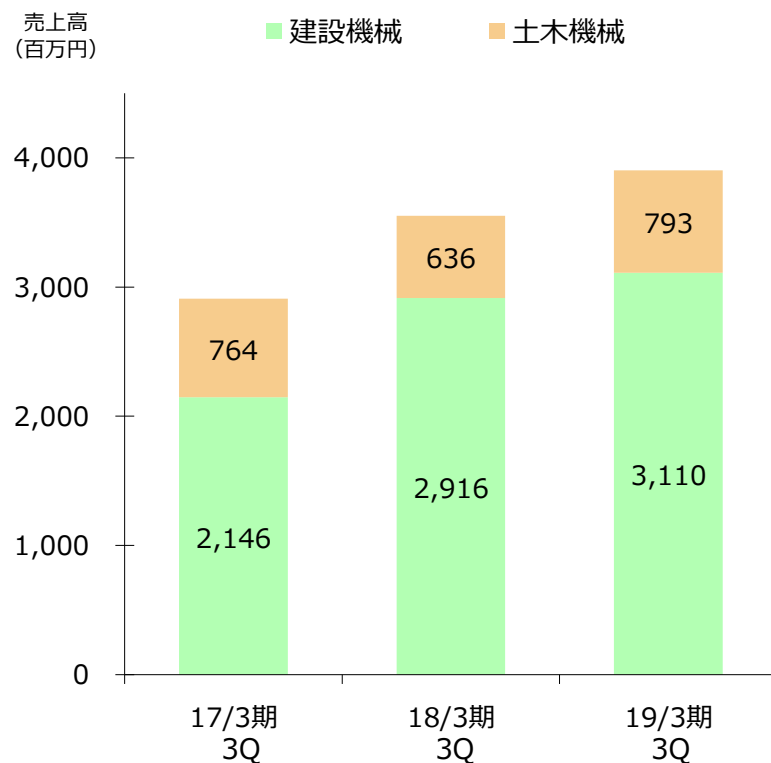
機械事業

- 建設機械は、除染関連プラント販売により増収も、損益面は低調。
- 土木機械は、掘進機の本体販売において、アジア向け輸出が寄与。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

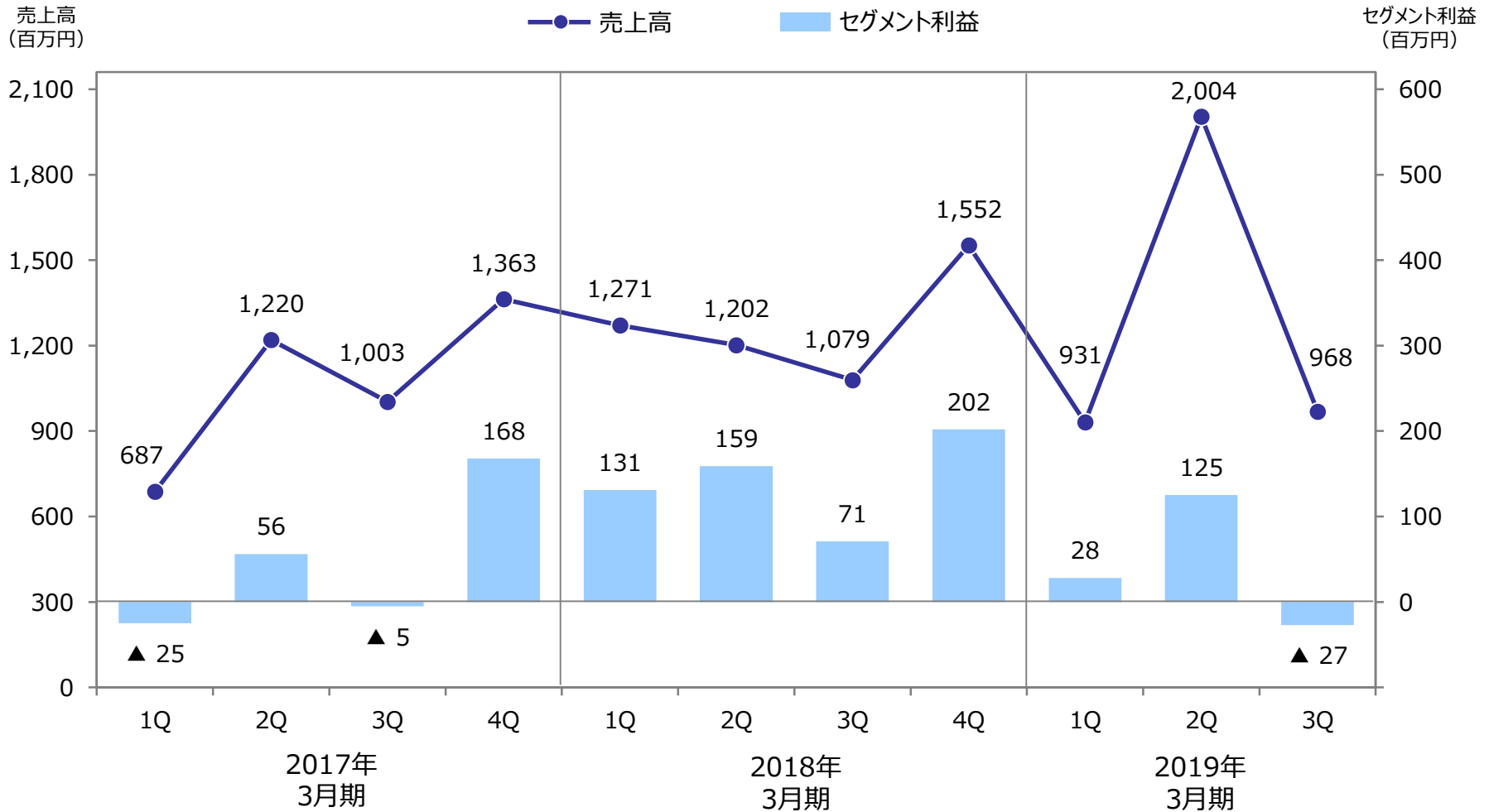


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

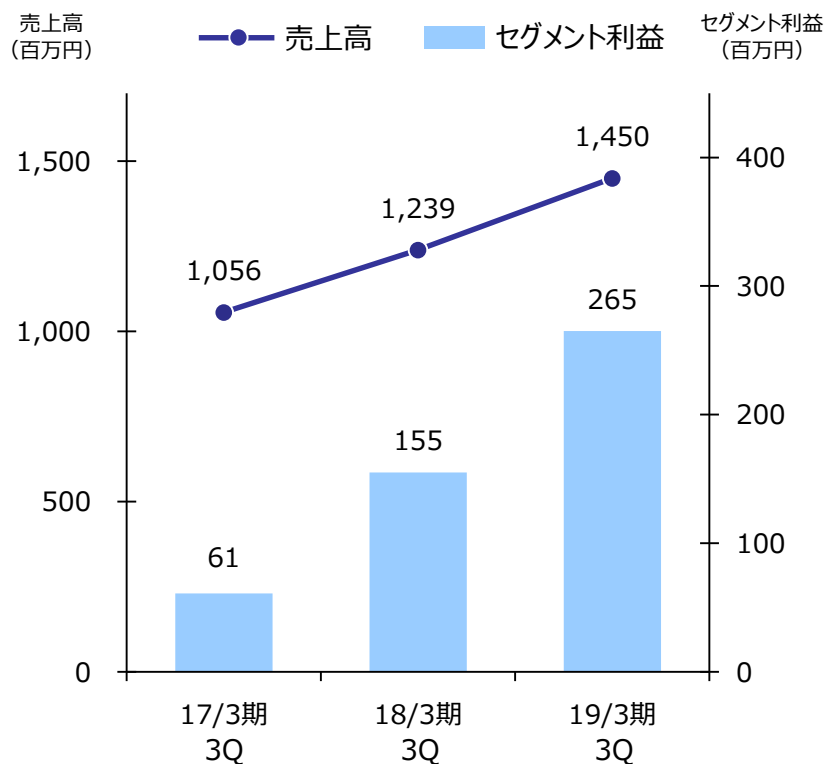
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



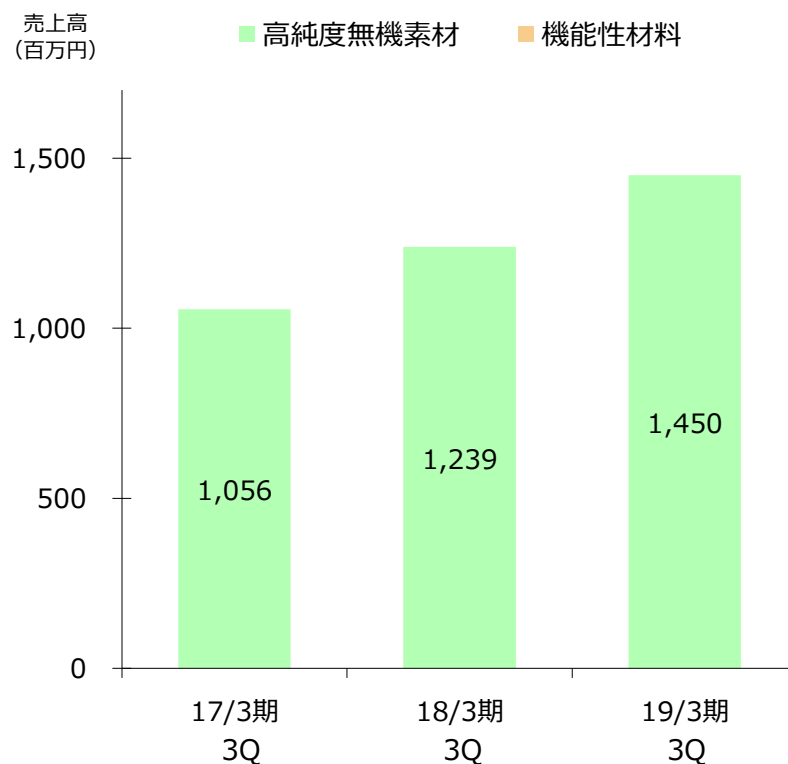
電子材料事業

- ガリウム、インジウムの、販売価格の大幅な回復と、需要の増加により増収増益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

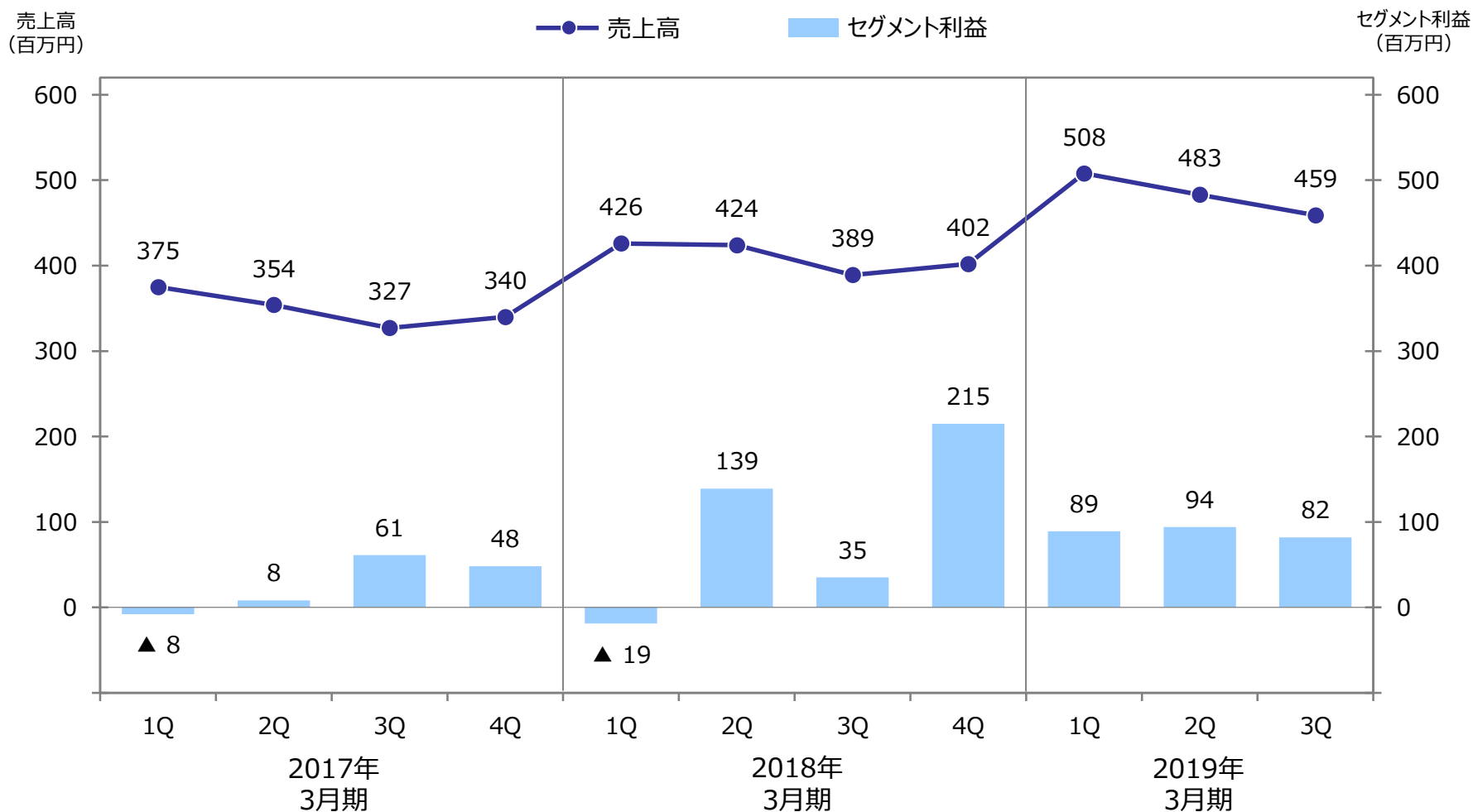


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2018/3期 第3四半期	2019/3期 第3四半期	増減	前年同期比
売上高	20,012	23,042	3,030	15.1%
売上原価	14,931	18,096	3,165	21.2%
販売費・一般管理費	3,117	3,277	160	5.1%
営業利益	1,962	1,668	△ 294	△ 15.0%
営業外収益	171	389	218	127.5%
営業外費用	298	300	2	0.7%
経常利益	1,835	1,758	△ 77	△ 4.2%
特別利益	9	16	7	77.7%
特別損失	—	1	1	—
税金等調整前当期純利益	1,844	1,773	△ 71	△ 3.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,501	1,548	47	3.1%
(減価償却費)	746	968	222	29.8%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2018/3月末	2018/12月末	増減
流動資産 計	17,559	15,842	△ 1,717
現金及び預金	5,188	2,729	△ 2,459
受取手形及び売掛金	8,248	8,776	528
たな卸資産 ※	3,591	3,902	311
固定資産 計	18,720	20,489	1,769
有形固定資産	14,583	17,156	2,573
無形固定資産	947	37	△ 910
投資その他の資産	3,189	3,295	106
流動負債 計	12,992	13,798	806
支払手形及び買掛金	4,240	3,851	△ 389
短期借入金	5,410	7,348	1,938
固定負債 計	10,281	8,356	△ 1,925
長期借入金	6,813	5,014	△ 1,799
退職給付に係る負債	2,936	2,964	28
純資産	13,007	14,176	1,169
自己資本	12,963	14,131	1,168
非支配株主持分	44	45	1
総資産	36,280	36,331	51
<自己資本比率>	35.7%	38.9%	

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

2019/3期の業績予想

(2018年5月14日公表より修正なし)

- 化成品事業は、半導体向け高純度リン酸等の販売増加の予想も、償却費等のコストアップを見込む。
- 電子材料事業は、放射性ヨウ素吸着剤の販売を見込むも、高純度無機素材において前期あった在庫評価の戻入益を考慮。
- 営業利益セグメント間見直し。機械事業は、除染関連プラントの採算厳しい。電子材料事業は、ガリウム・インジウムの利益率の改善。(第2Q追記)

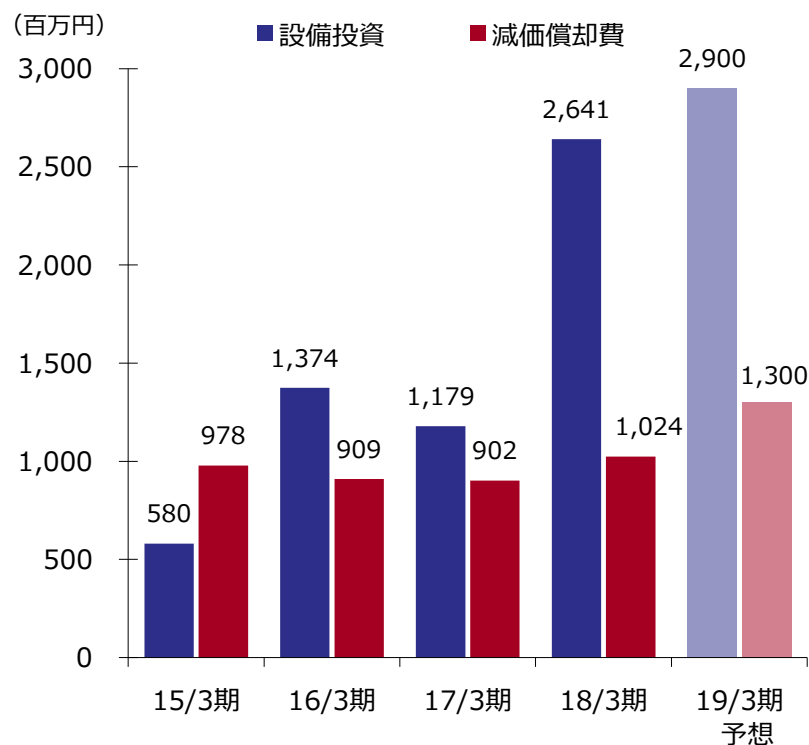
(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期予想	増減	前年同期比
売上高	27,427	32,000	4,573	17%
化成品事業	19,459	23,200	3,741	19%
機械事業	5,104	5,700	596	12%
電子材料事業	1,641	2,000	359	22%
その他	1,220	1,100	△ 120	△ 10%
営業利益	2,842	2,800	△ 42	△ 1%
化成品事業	1,988	2,100	112	6%
機械事業	563	400	△ 163	△ 29%
電子材料事業	370	500	130	35%
その他	784	700	△ 84	△ 11%
全社費用など	△ 864	△ 900	△ 36	—
経常利益	2,718	2,800	82	3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,251	2,300	49	2%
1株配当金	40.00円	40.00円	—	—

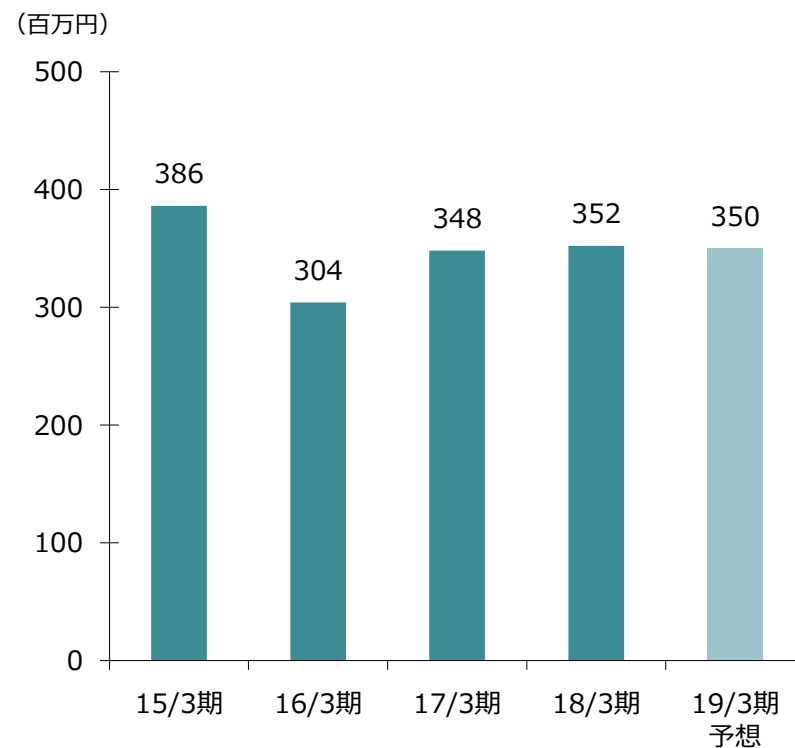
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、主に化成品事業において、半導体向け高純度リン酸設備の更新と増強を実施。
- 2019年3月期においても、化成品事業を中心に設備更新をすすめる。
- 借地であった大阪工場の底地を取得。 → 損益改善効果を見込む。

設備投資・減価償却費



研究開発費



本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

—IRに関する問い合わせ窓口—
ラサ工業株式会社 経理部
03-3278-3892